

【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	お好み焼きこなこな		代表者氏名	小田敏行	
事業所所在地	浜松市中区早出町1025-1				
連絡先	電話番号	053-545-5701		FAX番号	053-545-5701
職員数	4	定員	10	利用者数	10 (うち身体 知的 精神 その他)
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ <u>NPO法人</u> ・ その他			設立年月日	2006年11月
改善計画期間	2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日 (1年間とすること)				

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策
(詳細かつ具体的に記載すること)

(未達成理由) ・ 原材料費の高騰 (野菜、小麦粉、魚介類) ・ 売上目標の未達 (特に平日昼間の売上向上が課題)	(具体的改善策) ・ 仕入れ先の見直しをし、原価率の低減を図る ・ 売上向上の為、集客の強化を図る → 配達先の集客、イベント出店、近隣へのチラシ配布の強化 季節限定メニューの企画、酒類等高利益率メニューの獲得 ファミリー層向けメニューの企画 等
---	--

2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
幅広い客層に向けた営業展開をしている。 配達の仕事も行っているが、現状、配達先は少ない。	平日昼間の主婦層、地元の固定客、纏まった注文をいただける配達先、を増やすことにより、売上の向上を図る。 各種イベントへの出店をし広報活動と現場での売上向上を図る。 割引チケットやチラシの配布を積極的に行い、知ってもらう機会を増やす。

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性 (どのような資格、経験等を持った者が担当するか等) について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額 (1年間の額を記載)

現在の収入額	計画期間を通じて達成するべき目標収入額
16,648,663円	19,208,000円
(主な費目) お好み焼き 焼きそば たこ焼き 明石焼き 等	(積算根拠) 曜日別売上目標 火曜36,000円×39日=1,404,000円 水曜49,000円×51日=2,499,000円 木曜35,000円×51日=1,785,000円 金曜50,000円×52日=2,600,000円 土曜102,000円×52日=5,304,000円 日曜108,000円×52日=5,616,000円 合計: 19,208,000円

(注) 目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額 (1年間の経費を記載)

現在の経費	計画期間を通じて見込まれる経費
17,391,744円	18,665,000円
(主な費目) 利用者賃金 原材料仕入高 店舗賃借料 水道光熱費 等	(積算根拠) 利用者賃金: 11,357,000円 原材料費: 5,763,000円 雇用保険料等: 206,000円 販売管理費: 1,339,000円 合計: 18,665,000円

5 生産活動に係る事業の収入－生産活動に伴う必要経費

現在の「収入－経費」	計画期間後の「収入－経費」
- 743,081円	543,000円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
10,712,237円	11,357,000円
(積算根拠) H29年度支給実績合計	(積算根拠) 時給850円×1日5時間×22日×12か月×9人=10,098,000円 時給850円×1日5時間×22日×6か月×1人=561,000円 時間外手当・通勤手当等: 695,000 合計11,357,000円

事業所代表者署名欄

印

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
集客活動	<ul style="list-style-type: none"> ・意外と店自体を知らない ・知っていても来店していないお客様は未だに少なくない。 ・新規顧客の獲得が必要 ・様々なチラシを作ってはいるが、十分に配れていない。 	2018年4月1日 ～ 2019年3月31日	①チラシ配り。 <ul style="list-style-type: none"> ・早出、十軒、上島中心に、一軒一軒挨拶回り。 ・定期的な折込チラシ（季節限定メニュー等の宣伝） ②割引券の配布 <ul style="list-style-type: none"> ・割引券の配布の際は、集計・報告を必ず行い、データ収集をする。 ・職員紹介割引などの新割り引き制度の導入。 ③イベント出店 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、大学を中心としたイベント出店をし、広報活動を行う。（他部署含め実施） ・イベントに併せたボランティアの獲得
利益率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・平日昼間の来店数が少ない。 ・まずは客単価の高い夜営業の方で、来店数を増やし、売り上げの向上を図っていく必要がある。 	2018年4月1日 ～ 2019年3月30日	①単価の高い夜営業を中心に、顧客の獲得を図っていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・モイプラスなどのクーポンの導入 ②利益率の高い酒類の積極提案
集客活動 魅力的な店づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様向けメニューが無い ・現在、夏季だけ季節メニュー実施している ・料理の出来栄にバラツキがあるときがある 	2018年4月1日 ～ 2019年3月30日	①季節限定メニューの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・春・秋・冬の限定メニューも実施。 ・宴会宣伝方法の見直し ②料理の質・衛生面の見直し ③家族層に向けたお子様メニューなどの提供。
売上向上 (配達先・イベント ・他部門を巻き込んで売上向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントには定期的に参加している ・現状は配達先は1件のみ、週1回程度である。 	2018年4月1日 ～ 2019年3月30日	①イベント出店 <ul style="list-style-type: none"> ・学校、大学でのイベント出店をし、広報活動を行いながら、当日の売上も見込む。 ②配達先の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・平日昼間は比較的空いているので、定期配送をし、売り上げの底上げを図る。 ③放デイへの定期DM <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設等をへ利用してもらえようPR。団体で来てもらうことで、纏まった売上が期待できる。
経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜、小麦粉、魚介類などの原材料高騰 	2018年4月1日 ～ 2019年3月30日	①仕入れ先の見直し

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

平成30年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	1,550,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,608,000	1,350,000	1,600,000	1,600,000	19,208,000
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	483,000	5,763,000
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	145,000	1,545,000
	就労支援事業活動増減差額	945,000	995,000	995,000	995,000	995,000	1,095,000	1,090,000	1,090,000	998,000	740,000	990,000	972,000	11,900,000
	支払い賃金総額	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	850,000	1,047,000	1,070,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,080,000	11,357,000

(前年度実績)

平成29年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	1,480,757	1,372,713	1,441,582	1,483,269	1,534,140	1,392,374	1,238,645	1,411,985	1,401,297	1,080,610	1,278,494	1,532,797	16,648,663
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	398,846	422,901	454,002	451,194	429,431	473,674	415,228	393,602	454,876	473,436	407,870	439,924	5,214,984
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計	108,297	96,623	110,755	139,395	458,303	113,213	142,709	139,329	106,151	97,563	108,591	131,599	1,752,528
	就労支援事業活動増減差額	973,614	853,189	876,825	892,680	646,406	805,487	680,708	879,054	840,270	509,611	762,033	961,274	9,681,151
	支払い賃金総額	894,279	896,195	878,100	933,890	869,200	829,161	945,046	911,029	910,423	876,209	841,854	926,851	10,712,237